

第374空輸航空団の幹部と隊員、納涼祭に参加(1)  
*374th leaders, Airmen enjoy local Bon Dance festivals*

August 7, 2023

By Senior Airman Manuel G. Zamora and 1st Lt. Samantha Perez  
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真1)7月26日、航空自衛隊入間基地で行われた納涼祭で、記念撮影をする航空自衛隊中部航空警戒管制団司令の小野打泰子空将補(左)と第374空輸航空団司令官アンドリュー・ラダン大佐。

参加者は、食事や花火、そしてさまざまなスタイルの盆踊りを楽しんだ。こうしたイベントは、米軍のメンバーと地元の日本人々との良好な関係を促進する。



1

(写真2)7月26日、入間基地納涼祭で盆踊りを披露する地元の人々。盆踊りは約600年の歴史を持ち、祖先の霊を慰める意味がある。



2

(写真3)7月26日、航空自衛隊「入間基地納涼祭」で打ちあがる花火。



3

## 第374空輸航空団の幹部と隊員、納涼祭に参加(2) *374th leaders, Airmen enjoy local Bon Dance festivals*

August 7, 2023

By Senior Airman Manuel G. Zamora and 1st Lt. Samantha Perez  
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真4) 7月27日、府中基地で行われた納涼祭で、盆踊りを踊る第374空輸航空団所属軍人の配偶者シャノン・オキヤラハンさん(左)と同航空団特殊被害カウンセラーのレジーナ・ヘネンロッターさん。

盆踊りは、先祖を敬い感謝を表す日本の伝統的な踊りである。



4

(写真5) 写真をシェアし歓談する、航空開発実験集団准曹士前任荒木俊哉准尉(左)と第374空輸航空団最先任上級曹長ジェリー・ダン最上級曹長。

第374空輸航空団の幹部、空兵、家族は、府中基地納涼祭の招待を受け、米軍と航空自衛隊との協力関係を築き理解を深めた。



5

(写真6) 7月27日、府中基地の納涼祭で、記念撮影をする第374空輸航空団と航空自衛隊の空兵、家族、幹部たち。空兵とその家族は、納涼祭を通じて日本の文化と伝統を体験した。



6